

## 2022 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人よもぎのアトリエ
活動テーマ	“避難所には怖くて行けない” 精神障害者等の心を大規模災害から守るための活動



海外ではマスク姿の人がほとんど見られなくなっているにも関わらず、日本では3月13日を過ぎても、みんなマスクを装着している。残念だが、「日本人は主体性のない、お上に対して従順な国民ではないか」という、私たちが当初から抱いていた懸念が的中した。当事業は、令和4年4月、未だ日本国民が「根拠のないコロナへの恐怖」に怯えていた頃スタートしたが、私たちはこのような懸念から、「おそらく今、研修会開催を呼びかけても人々の反応は薄いだろう」と読み、まずは足下（自作業所の職員や利用者）の勉強会からスタートした。他の事業所にアンケートをお願いするためには、まずは自分たちが意識・知識を持つことが大事と考え、9回の勉強会で、「障がい者の心配ごとの聴き取り」や、その際の「対応方法の学習」、さらには「アンケート調査企画作成」を行なった。

アンケートは、調べることではなく、呼びかけること、仲間を募ることを目的とした。広島県内の就労系事業所や放課後等デイサービス800箇所に対して、①FAX 依頼・FAX 回答、②FAX 依頼・スマホ回答、③郵送依頼・FAX 回答の3つの波状アプローチし、結果回収率1割を超える成果を導き出すことができた。そして何より、そのアンケートによって、県内の就労系作業所の連絡協議会から、当法人事業所への視察希望が寄せられたのである。同協議会の事務局が、当法人事業所に来所、備蓄雑穀やガス発電等の状況を視察後、2024年度の協議会研修会を当法人講師とによる開催にしたいとの依頼をいただいた。当方からは、「行政に対し、プロパンガス発電設備整備補助の創設働きかけをみんなで行っていきませんか」という提案をさせていただくこととなった。

このオファーがあったことで、今回の『他の作業所に防災活動を働きかけるためのアンケート作戦』が目標だった今回の事業は、一定の成果にたどり着くことができたと思っている。この他、勉強会の成果として、「震災以上に巨大な危機が食糧である」という問題にも辿り着いた。この問題にもHPから発信し始めることとした。